

剣道最高段位八段審査合格

剣道は技と気迫に加えて 人の和が大切

小島 啓三

剣道最高段位の八段審査に
本学教授小島啓三先生（剣道
部監督）が合格率1%の難
関を突破し見事合格した。



八段審査会は毎年2度、5月
に京都、11月に東京で開かれ、
七段位を取得後10年を超えた
46歳以上が受験資格を持つ。
今回5月7日・8日に京都市武道センターで行われ全国か
ら968人が受験。初日に受験者同士が打ち合う実技（1、2
次）最終日に学科と形の審査を行った。

実技は勝敗ではなく、技の切れや姿勢、気迫、相手の動きの先を読むことなどが総合的に評価される。1次で93人にしぼられ、続く2次審査を通過した16名が最終審査に合格した。合格率は1.65%。小島啓三先生は7度目の挑戦で宿願を果たした。

2002サッカー・ワールドカップ



W杯の出場を決めているカメルーンの臨時代理大使が7月18日（水）キャンパス候補地視察のため花巻市を訪れ、市のスポーツキャンプ村、本学スポーツセンターを視察した。

大使は「最終的には本国のサッカー協会が決定するが、施設が立派で街の雰囲気も温かい。ほかの視察地に比べて涼しく、静かな環境が選手にもなじみやすい」「富士大学のサッカー部員が紅白試合で出迎えてくれて、何か、カメルーンを

応援してくれているようでとても嬉しい」と大いに好感を持ったようだ。
カメルーンは4大会連続5度目のW杯出場で90年のイタリア大会でベスト8、シドニー五輪で金メダルを獲得した強豪チームである。



スイス、チューリッヒにて 国際会議に参加

金子 賢一

7月5日から約2週間、スイスのチューリッヒで行われたバイオメカニクスの国際会議に参加し、研究発表を行って参りました。発表課題は「Electromyographic activity and electro-oculogram related to spontaneous blinks in patients with Parkinson disease」と題し、パーキンソン病患者のまばたきに関する解明とパーキンソン病の重症度の判定を試みようとするものです。詳細や発表内容については割愛させていただきます。会議全般に関して手短かに報告いたします。



右端が金子先生

会議が開催されたスイス連邦工科大学は、相対性理論を提案したアインシュタインが学び、教鞭を取った大学です。建物は大学というよりは教会のような石造りで、厳かな気持ちで会議に臨みました。会議にはヨーロッパ諸国を始め、北米、南米、オセアニア、アジア等、様々な国が参加しておりました。国際会議では共通の研究テーマについて話合うことは勿論ですが、パンケットで色々な国の研究者とお酒を交わしながら会話をすることもあります。インターネットの普及により自室に居ながら世界中の人とメールが出来る時代ですが、同じ時間、同じ空間を共有しながら、身振り手振りを駆使して意思疎通を図った経験は、私にとって貴重なものとなることでしょう。

スイスの公用語はドイツ語、フランス語、イタリア語です。多くのスイス人はそれぞれ2、3ヶ国語を使い分けて話せるようです。私ももっとたくさんのスイスの人とコミュニケーションできるようドイツ語やフランス語を学び、もう一度スイスへ行ってみたいと思います。

平成13年花巻まつり



花巻まつり（今年は9月7日から9日開催）が、もうすぐやってきます。この花巻まつりは約400年の歴史があり、現在約20台の山車と約140基の神輿が参加する東北有数の秋まつりです。本学が神輿パレードに参加し

て、今年で25年目を迎えます。また、3年前から女子学生も参加したいという要望にこたえ、浴衣も用意されています。参加申込みは、平成13年9月4日から7日まで、学生課で受付しています。多数の参加を期待します。



この紙は再生紙を使用しております。

地区 父母懇談会日程案内

平成13年度父母懇談会が9月5日から東北・関東地区の6会場で開催される。家庭と大学の連携を密接にする唯一の機会であり毎年成果をあげている。懇談会の内容は教務部、学生部、就職部の説明が行われ、その後学業成績、学生生活、就職などについて担当者と父母の間で膝を交えた個人面談が行われる。また、各地区で活躍しているOBを招き交流会も予定されている。会場日程は右記の通り。

9月5日(水)青森地区
青森グランドホテル
9月8日(土)北東北地区
(岩手・秋田)富士大学(681教室)
9月11日(火)宮城地区
(山形地区を含む)仙台ガーデンパレス
9月12日(水)福島地区
郡山ビューホテルアネックス
9月13日(木)北関東地区
関東チサンホテル宇都宮
9月14日(金)関東地区
アルカディア市ヶ谷(私学会館)



高校生童話大賞

全国5300校の高校生の皆さんを対象に
“童話”を募集中です。

この度本学主催でNHK等の後援を受け、全国の高校生に“童話”という自由な表現の場を提供する「賢治の町から - 高校生童話大賞」を企画し、6月1日より募集を開始しました。

昨今、青少年が引き起こす悲惨な事件に社会が騒然となるなど憂慮すべき状況が生じています。本来、人生の中で最も多感で豊かな創造力を内包している時期が高校生時代であるはずですが、そこで高校生のみずみずしい感性を引き出す機会を提供したいと考えました。高等学校では平成15年度から新しい教育課程が本実施になり、様々な事柄に生徒が主体的、創造的に取り組む態度や能力を育てること等を目標にした「総合的な学習の時間」も創設されます。そういう中で創作活動として各高等学校で取り組むことも一つの方法だと思います。

今、幼児期からの家庭教育の大切さが改めて強く指摘されています。「親のひざで童話を聞く」といったことはその第一歩のように思えます。高校生の時に夢のある童話作りを体験することは、将来親になった時によい子育てをすることにもつながるのではないのでしょうか。今後、未長く続けて行く予定です。



広報委員会よりお知らせ

皆さんのご意見、ご希望をどしどしお寄せ下さい。

連絡先は広報室まで

原 久雄(広報室長) 井手 俊一(広報室課長) 小田桐 恵仁・高橋 直樹

E-mail kouhou@fuji-u.ac.jp

OBから一言

頑張っていますOB

昭和54年卒業 佐藤美恵子 さん
色彩コンサルタント/カラーアナリスト(有)トランタン倶楽部

今回は、日本国内に4人だけという、米国「RENAE KNAPP SCHOOL OF COLOR」の認定を受け、カラーアナリストとして活躍されている佐藤美恵子さんをご紹介します。



カラーコーディネート技法は、今日、ビジネスはもとより、人々の衣・食・住の生活環境そのものに、また、人材育成などあらゆる分野に活用活用されていますが、色彩の果たす役割や重要性・影響力などについて、その色彩効果をもたらす美的センスやテクニックを教える教室がほとんどありませんでした。

こうした中、以前の職場で、色の大切さを実感した佐藤さんは、メイクアップ研究所に通い、色彩コンサルタントのライセンスを取得し、「(有)トランタン倶楽部」を設立しました。さらに勉強を重ね、現在国内に5校だけしかない内の1校の「ロバート・ド・ア メソッド」TM実用色彩調和理論「ブルーベース/イエローベース カラーシステムR」によるユニバーサル カラープランナー養成講座「ジャパンスクール盛岡校を開講するまでとなりました。今や、専門学校の講師に、企業研究会の講師になど、日本全国を駆け巡る多忙な毎日を送っているそうです。

「仕事は人と人のふれあいが基本。人を成長させてくれるのは仕事ではなく、仕事を通して出会う人とのつながりです。」こうした考え方になれたのも富士大で、教授や仲間たちといろいろな話をし行動できた四年間があったからです。皆さんもよい人間関係を築いて下さい。」と、佐藤さんはエールを送ってくれました。

(井手 俊一)



みんなの力を一本に

FUJI SPORTS FESTIVAL



スポーツフェスティバル大盛況

平成13年6月12日(火)晴天のもと、本学多目的グラウンドにて、FUJI SPORTS FESTIVALが行われ、例年ない盛り上がりを見せた。毎年6月中旬にゼミ対抗の球技大会を行っていたが、今回、学生会執行委員会から400mトラックと芝生のグラウンドを使用して運動会を開催したとの強い要望があり、実施す

ることとなった。開会式では、学生会を代表して荒井敏隆君が、教職員からは名島利喜助教授が揃って選手宣誓をし、競技が開幕した。小山田学長と全学生によるジャンケン大会を皮切りに、綱引き、ぐるぐるバット・フラッグ競争、部活対抗リレー、玉入れ競争、借り物競争と

進み、最終競技は1チーム24名によるチーム対抗リレーが行われた。学生達は、終始笑顔が絶えず、学友とともに清々しい汗を流し、走りまわっていた。また、日頃運動不足になりがちな教職員も学生達と一緒に充実した一日を過ごした。特に玉入れ競争では、「懐かしい」と言う声も学生達のなかから聞こえた。

この企画について1ヶ月以上の時間をかけ、玉入れなどの大学にない用具を花巻市内の小学校から借りてきたり、夜遅くまで競技種目やタイムスケジュールを綿密に練るなど、準備を重ねてきた。こうした苦労の結果、当日はスムーズな進行ができ、フェスティバルは、成功裡に終了した。これも偏に学友会の実行力と参加した学生達の協力の賜であったと言える。

スポーツフェスティバル結果

総合優勝 灰色チーム(吉田ゼミ、武井ゼミ、石川ゼミ)
準優勝 エンジ色チーム(鳥居ゼミ、大橋ゼミ、小山田ゼミ)
第3位 黄土色チーム(斎藤(千)ゼミ、青木ゼミ、柳田ゼミ)

部活対抗リレー 優勝 陸上競技部
準優勝 サッカー部
第3位 硬式野球部

キャンパスライフ

岩井 敬祐 (経営法学科2年)



現在学生会では、10月13日(土)14日(日)に開催する紫陵祭に向けて、準備を進めています。

私達学生会執行委員会と教養演習のゼミ幹事、自主参加の学生とともに、紫陵祭実行委員会を結成し、総務・広報・企画に分かれ、活動しています。

6月に開催したスポーツフェスティバルは無事成功できたことで、執行委員会では紫陵祭への志気も高まり、積極的な議論も交わされるようになりました。

実行委員会でも広報は、ポスター・パンフレット・看板の作成を開始し、スポンサーになってもらう企業への訪問もしています。

また企画は、当日のタイムスケジュール作成や目玉となるイベントの交渉を進めており、これまでとは一味違う富士大学、そして岩手・花巻の色を出した学園祭を目指し、取り組んでいます。

いずれも私達にとって、これから壁となる問題も多々あるとは思いますが、全学生、

教職員の皆さんの協力を得て、学生会最大のイベントを

成功させたいと思いますので、よろしくお祈り致します。

紫陵祭に向けての学友会活動



オリエンテーション

新入生学外オリエンテーションが4月19日~20日国立岩手山青年の家で実施されました。これは、1泊2日の学外研修によって、学生同士並びに学生と教職員との交流を図り、友達づくりの機会とし、新入生が早く大学生活に馴染むことを目的に行われたものです。

1日目は、入所後ゼミ毎に分かれ、自己紹介やそれぞれ設定されたテーマについて討論会等が活発に行われました。夕食後のレクリエーションでは、学友会役員が中心となり、教職員も学生たちと一緒に和



やかにゲームを楽しみました。

2日目は、「学生生活について」の二人の先生の講話のあと、ゼミ対抗のスポーツで汗を流し、最後の閉講式ではゼミ代表者の感想などの報告で終了となりました。学生達の感想では、友達が出来たという意見が多く、目的は十分に達成されたと思います。

アンケート結果でも「先生と親しくなった」が92%、「同ゼミの学生と交流ができた」が90%で、学生達がそれぞれ友人となり、ゼミ担当の先生とも理解が深まったと思います。これから楽しい学生生活が展開されることを期待します。

教養演習旅行

五月晴れとなった5月23日(水)、大学生生活に馴染みつつある1年生全員で、岩手県内の名勝を巡るバス旅行が実施されました。



今年のコース希望の割合は、6割が猿鼻溪コースに集中し、3割が盛岡コースで、1割が中尊寺コースでした。

学生のアンケート結果によりますと、もっとも印象に残った場所は猿鼻溪の舟下りが1番多く(42.9%)、2番目は岩手放送見学(15.5%)、3番目は小岩井農場(11.5%)、次が太陽と風の家(7.5%)という順番でした。「旅行に満足したか」の問いには、「満足」と答えた学生は33%あり、「普通」を含めると約

80%の学生が不満なく参加出来たと思います。

また、このゼミ旅行の大きな目的は、学生相互の交流とゼミ内の親睦ということですが、「先生と親睦が図れたか」の問いには「図れた」が46%あり、「普通」と答えた学生を含めると約90%の学生が教員との交流があったと思います。学生相互の交流の面を見ても「交流を持てた」と答えた学生が50%以上あり、「普通」を含めると約93%の学生が少なからず交流があったと見ることができ、全体的に残った場所は猿鼻溪の舟下りではなかったかと思われる。



FUJI UNIV. SPORTS CLUB

富士大スポーツ



陸上競技部



根城早織

二人のヒロイン!!

平成13年6月15日~16日宮城県女川陸上競技場にて行われた東北学生対抗陸上競技選手権大会において、女子1,500m、5,000mの二種目で根城早織(1年、光星学院高出身)が優勝。

また、女子5,000m競歩で田中久美子(1年、白石女子高出身)が第2位と健闘した。

なお、二人は、9月に行われる全日本学生対抗陸上競技選手権大会への出場権を得た。



田中久美子

入賞者

男子	1,500m	第8位	後藤圭太
	10,000m	第4位	小林健治
	棒高跳	第4位	鈴木悠祐
女子	400m	第6位	戸来 歩
	800m	第7位	戸来 歩
	1,500m	第1位	根城早織
	5,000m	第1位	根城早織
		第4位	千葉夕里
	10,000m	第2位	千葉夕里
	5,000m	第2位	田中久美子 (大会新)
競歩		第2位	田中久美子
やり投		第3位	岡本 歩

バスケットボール部

新風を巻き起こせ!!

5月19日~21日岩手県営体育館にて県下一般選手権大会が行われ、大会3連覇を狙う岩手大学を準々決勝で83-79で下し、決勝戦では、岩手教員の高さの前に善戦したが惜しくも敗れ初出場初優勝を逃した。

北奥羽大会初優勝

5月26日~27日岩手大学体育館にて行われた北奥羽地区大学バスケットボール大会では、全試合100得点以上の得点をし同大会初優勝を果たした。めざせ全日本学生。



ではあるが目指すは全日本学生選手権大会初出場だ。

現在チーム最長身の173cmセンター中村友子(2年)が故障の為、試合欠場しているが、中村の故障が治り、チームに戻ってきたとき、どのようなチームが出来上がるか楽しみだ。めざせ全日本学生。

準硬式野球部

惜しくも準優勝

平成13年4月24日(火)に開幕した東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦が、宮城県営球場他にて約1ヶ月間行われた。

今大会では、打撃が好調で最終週まで順調に勝ち上がったものの、東北学院大戦では惜敗し、残念ながら準優勝、全日本大会出場も逃した。

なお、個人賞ベストナインに遊撃手 橋本讓二(2年、古川工高出身)と外野手 及川謙一(4年、仙台工高出身)が受賞した。

優勝	東北学院大学	10勝1敗
準優勝	富士大学	8勝3敗
第3位	東北大学	7勝6敗
第4位	仙台大学	6勝6敗
第5位	福島大学	2勝8敗
第6位	東北薬科大学	1勝10敗

卓球部

男女共に準優勝

平成13年5月19日(土)20日(日)東北学生卓球連盟春季リーグ戦兼全日本大学対抗卓球大会予選会が宮城県塩釜市体育館にて行われ、本学卓球部が男女共に一部リーグで準優勝した。

ここ数年青森大学が卓球に力を入れ全国でも活躍している。また、伝統を誇る東北福祉大学もひしめく一部リーグでの準優勝は価値ある結果だ。

また8月1日から行われる全日本大学対抗卓球大会への出場権も獲得した。



男子一部リーグ	優勝	青森大学	5勝0敗
	準優勝	富士大学	4勝1敗
	第3位	東北福祉大	3勝2敗
	第4位	八戸工業大	2勝3敗
	第5位	東北学院大	1勝4敗
	第6位	仙台大学	0勝5敗
敢闘賞	工藤耕也(3年)		

女子一部リーグ	優勝	東北福祉大	4勝0敗
	準優勝	富士大学	3勝1敗
	第3位	東北学院大	2勝2敗
	第4位	山形短期大	1勝3敗
	第5位	宮城教育大	0勝4敗
	第6位	いわき女短	棄権
敢闘賞	酒井由真(2年)		

女子ベスト8	1回戦	富士大学153-13東北生活大
	2回戦	富士大学96-80弘前大学
	準々決勝	富士大学62-123東北学院大



東北地区大学総合体育大会 結果

卓球部

平成13年6月24日
福島体育館
男子団体 準優勝
準決勝
富士大学3-0八戸工業大
決勝
富士大学0-3青森大学



女子団体 準優勝
準決勝
富士大学3-2東北学院大
決勝
富士大学0-3東北福祉大



空手道部

平成13年6月16日~17日
福島大学体育館
男子個人戦
1回戦敗退
小笠原英人
高田清和
2回戦敗退
阿部慎太郎

弓道部

平成13年6月22日~25日
福島明成高校弓道部
予選リーグ
Cブロック
富士大学13-32いわき明星
富士大学12-36福島大学
富士大学13-48日大工学部

バスケットボール部

平成13年6月30日~7月1日
県営あづま総合体育館
男子
富士大学1-4
1回戦
富士大学95-68いわき明星
2回戦
富士大学71-110山形大学

女子ベスト8
1回戦
富士大学153-13東北生活大
2回戦
富士大学96-80弘前大学
準々決勝
富士大学62-123東北学院大

バドミントン部

福島市国体記念体育館
1回戦
富士大学0-4八戸工業大
平成13年6月15日~18日

陸上競技部

平成13年6月23日~24日
県営あづま陸上競技場
男子
1,500m 後藤圭太 8位入賞
3,000m 原田浩行 8位入賞
走高跳 佐藤賢則 第6位
女子
400m 戸来 歩 6位入賞
800m 戸来 歩 4位入賞

1,500m 根城早織 優勝
大会新
5,000m 根城早織 優勝



柔道部

平成13年6月16日~17日
福島市武道館
男子団体 準優勝
3回戦
富士大学3-1岩手大学
準決勝
富士大学3-2東北学院大
決勝
富士大学1-2秋田経法大

女子個人戦 第3位
鈴木博子



剣道部

平成13年6月24日
福島大学
男子団体 第3位
決勝トーナメント
1回戦
富士大学4-1日大工学部
準決勝
富士大学0-4東北学院大

女子団体 ベスト8
決勝トーナメント
1回戦
富士大学1-2山形大学
女子個人 優勝
山内真由美(3年)

硬式野球部

平成13年6月28日~7月2日
県営あづま球場
ベスト8
1回戦
富士大学11-0宮城大学
2回戦
富士大学8-1東北工業大
準々決勝
富士大学0-2青森大学

サッカー部

平成13年6月16日~18日
J-VILLAGE(福島)
1回戦
富士大学2-3東北工業大



水泳部

平成13年6月30日
福島中央市民プール
200m自由形 第6位入賞
軽部章太郎(2年)



バレーボール部

平成13年6月16日~18日
県営あづま総合体育館
1回戦
富士大学0-2日大工学部

ソフトテニス部

平成13年6月15日~18日
福島市庭球場
1回戦
富士大学2-3日大工学部